

様式第5号

出張調査報告書

平成26年3月4日

松伏町議会議長 渡辺 忠夫

会派名 町民クラブ

代表者 鈴木 勝



下記のとおり先進地視察をしたので届け出ます。

記

1 期 日	平成26年2月6日から平成26年2月7日
2 視察地	(1) 熊本県あさぎり町 (2)
3 視察目的	(1) 循環型社会と有機肥料づくり (2)
4 視察者氏名	堀越 利雄 鈴木 勝 長谷川真也
5 視察結果	行程・視察結果は別紙

以上

平成26年3月4日

松伏町議会議長 渡辺忠夫様

町民クラブ  
代表 鈴木 勝

### 出張調査報告書

当会派で先進地の行政視察を行いましたので、その結果を下記のとおり報告いたします。

#### 記

- 1 調査年月日  
平成26年2月6日(木)から平成26年2月7日(金)まで
- 2 視察地及び視察目的  
(1) 熊本県あさぎり町 循環型社会と有機肥料づくり
- 3 視察者氏名  
鈴木 勝 堀越 利雄 長谷川 真也
- 4 視察内容及び結果  
(1) 熊本あさぎり町 循環型社会と有機肥料づくり
  - ① 事業の実施経緯について  
福島原発の問題以来、東埼玉資源環境組合では選定枝・刈草などを集めての肥料の作りが行われなくなっている。そんな中「小型生ごみ粉碎機」を利用しての生ごみペレット化がおこなわれているあさぎり有機肥料作成センターを視察した。
  - ② 事業の概要について  
現在のあさぎり町は平成の合併がおこなわれ、上記の事業は旧上村で行われていたものである。  
平成5年地域畜産活性化総合対策事業として採択され  
総事業費 4億79,181千円  
国・県補助金 2億82,202千円  
一般財源 8,379千円  
地方債 1億88,600千円
  - ③ 事業の取組状況及び効果について  
24時間でペレット化する小型生ごみ粉碎機」は燃料費等がかかるために現在

は使われてなかった。しかし、現在は住民から生ごみのみを収集し、熊本製材の木質ボイラーから出る木炭とを混ぜ合わせ有機肥料を作成している。作られた肥料は「おかえし肥料」として町民に配布されている。

④ 事業の課題等について

一日20トンの回収能力規模を持っているが現在は3分の1程度の回収のみとなっている。有機の残さいのみを出していただく事になっているが、いまだにビニールや割り箸などがあり、手で分別を行っていた。また、出来上がった肥料は、ミネラル等に自信が持てる。今後販売ルートを開発することが問題であると述べていた。

⑤ 結果（所感）

24時間でチップとなる機械が稼働していなかったことは、残念であったが町民より生ごみを回収し有機肥料を作成している行政の姿には感銘を受けた。また、堆肥センターその場においては悪臭はなく、その一役を担っているのが酵母菌で、それを紹介し、今だに連絡を取り合っているのが「埼玉県東松山市、白山産業」の小林氏であったことは同県人として誇らしかった。

平成26年町民クラブ視察日程表

平成26年2月6日 南越谷 7時集合

↓

羽田 10時00分

10時30分発(ANA643便)

↓

熊本空港 時着 12時25分着

↓

熊本県民百貨店 見学

熊本市泊

平成26年2月7日 熊本市 17時30分出発

↓

あさぎり町役場 10時 ~ 12時30分

生ごみたい肥化について 行政説明

あさぎり有機堆肥センター 見学

熊本空港 17時45分発(ANA648便)

↓

羽田空港 19時15分着

↓

南越谷 20時40分